第58回 中国四国リハビリテーション医学研究会

第53回 日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期　2025年**7月13日**日

会場　**高知大学医学部（実習棟）**

会長　**泉　仁**

高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

第58回中国四国リハビリテーション医学研究会
第53回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会
開催にあたって

第58回中国四国リハビリテーション医学研究会
第53回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
会 長 泉 仁
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部
部長・准教授

第58回中国四国リハビリテーション医学研究会および第53回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会を高知で開催させていただきますことを、大変光栄に存じます。

本会では、地域医療の現場で活躍される先生方やセラピストの皆様にお集まりいただき、最新の研究成果や臨床の実践的な知見を共有する機会を提供したいと考えております。リハビリテーション医療は多職種連携による包括的なアプローチが不可欠であり、その実践をより深化させるための議論を行える場となることを目指しております。また、四国・中国地方の医療現場における特色や課題を改めて見つめ直し、次の世代に向けたリハビリテーション医療の発展につなげる契機にしたいと願っております。

教育研修講演として、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科部長　金城 健先生に「小児痙縮治療戦略における選択的脊髄後根切断術の役割　チームアプローチと術後リハビリテーション治療の重要性」について、東京湾岸リハビリテーション病院院長　近藤 国嗣先生に「災害時のリハビリテーション支援体制と活動の実際」について御講演を賜ります。またランチョンセミナーとして、産業医科大学若松病院リハビリテーション科診療科長　蜂須賀 明子先生に、「ボツリヌス療法の多様な治療戦略を考える ―大学病院・一般病院・回復期および療養病院にて―」の御講演をお願いしています。高知で複数のテーマに関する魅力的な御講演を拝聴できることを楽しみにしております。

当日は多くの皆様にご参加いただき、実り多い会となりますよう、スタッフ一同鋭意準備を進めております。高知はアクセスが悪いですが、酒と肴には自信がありますので、是非前日入りでご堪能下さい。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

1) 当日は備え付けの参加登録票に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。

2) 受付にて参加費3,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。

3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、当日は抄録集をご持参ください。抄録集をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させて頂きます。

4) 各学会の研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。

5) 中国四国リハビリテーション医学研究会に入会を希望される方は、受付にて書類をお渡しします。詳細は、研究会事務局にお問い合わせください。

6) 学部学生（大学院生を含む）および専門学校生は参加費が免除になります。受付で学生証（身分証）を提示ください。

7) **お車でお越しの方は、ローソン横の外来駐車場（患者様・見舞客・一般者用）に駐車してください。また、駐車券をお持ちの上受付までお申し出ください。駐車料金を返金させていただきます。**

2. 演者の皆様へ

1) 発表形式は Windows 版 Microsoft PowerPoint2019で再生可能なファイルで作成してください。

2) スライドショーでのスライド枚数に制限はありませんが、6分間の発表時間に収まるように調整してください。討論時間は3分間です。

3) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint ファイルは、ファイル名を「演題番号＋氏名＋地方会または研究会」としてください（例：06、高知太郎 _ 地方会）。

4) 使用フォントは Windows 基本 OS に標準搭載のフォントを使用してください。特殊フォントや機種依存性文字は使用しないでください。スライドサイズはワイド画面（16：9）で作成してください（標準画面（4：3）で作成された場合、ずれが生じる可能性があります）。

5) ファイル作成後、他のパソコンで正常に作動するかチェックしてください。ファイルのアップロード前にウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。ファイルは2025年6月27日（金）までに、本会のホームページの「演者の皆様へ」内の「アップロード」に入り、オンライン登録してください。

6) 登録後に修正が発生した場合は、必ず事務局へ連絡後に再アップロードしてください。修正期限は2025年6月27日（金）までとさせて頂きます。期日以降のスライド修正は受け付けませんので、あらかじめご了承ください。
※ご連絡がない場合は修正前のファイルでのご発表になる場合があります。

7）登録頂いたファイルは、本会終了後に事務局が責任をもって消去します。

8）事前登録されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドの当日試写はありません。また学会当日にスライド変更の受け付けは致しませんので、あらかじめご承知おきください。

3. 座長及び演者の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席、次演者席にお着きください。座長の皆様にはご担当セッション内で活発な討議が行われますよう、お取り計らいください。

4. リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位を、学会参加でリハビリテーション科専門医師は1単位、認定臨床医は10単位、教育研修講演1、2、ランチョンセミナーでリハビリテーション科専門医は各1単位、認定臨床医は各10単位合計でリハビリテーション科専門医は最大3単位、認定臨床医は最大30単位を取得できます。なお、教育研修講演、ランチョンセミナーにて単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭者はさらに、リハビリテーション科専門医は1講演1単位、認定臨床医は1講演10単位が取得できますので、「専門医・認定臨床医単位取得自己申請用紙」に添付して「発表等の証明となるもの」もしくは「抄録集の表紙及び抄録掲載頁のコピー」を日本リハビリテーション医学会事務局へ送付してください。なお、地方会でご発表をされて、専門医試験を受けられる方へ「地方会発表証明書」を発行いたします。ご希望の方は、受付にてお渡しいたしますのでお申し付けください。

5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

【専門医の方】

教育研修講演1（【3】【7】）、講演2（【8】【13】）、ランチョンセミナー（【2】【13】）の受講により教育研修単位を各1単位取得できます。単位取得をご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いのうえ、各講演開始10分前から開始後10分後までに、日本整形外科学会の会員 QR コードを第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターの QR コードリーダーにかざして受講登録を行なってください。開始後10分を過ぎて手続きが完了していない場合には単位取得はできません。

【研修医の方】

研修手帳をお持ちの方も、日本整形外科学会の会員 QR コードで受講登録を行うため、日本整形外科学会ホームページの会員専用画面の単位取得履歴に記録が残ります。

このため、研修医手帳に受講証明印を受ける必要はありません。研修医手帳には、該当する分野のページに必要事項を記入し、受講証明印の欄に「会員 QR コー

ド」または「HP 参照」と記入してください。更新時には、日本整形外科学会ホームページの取得履歴と照合します。当日の受講登録方法については、専門医と同様に会員 QR コードで手続きを行なってください。

6. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

7. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加者本人が参加証明書（領収書）を添付資料として、会員ポータルサイトから受講履歴登録を行なってください。

8. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムのポイントは取得できません。

9. セラピストマネージャー認定看護師の皆様へ

回復期リハビリテーション看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイントは取得できません。

10. 理事会・幹事会のご案内

役員の皆様は12時～13時 第1講義室（講義棟1階）にお集まりください。

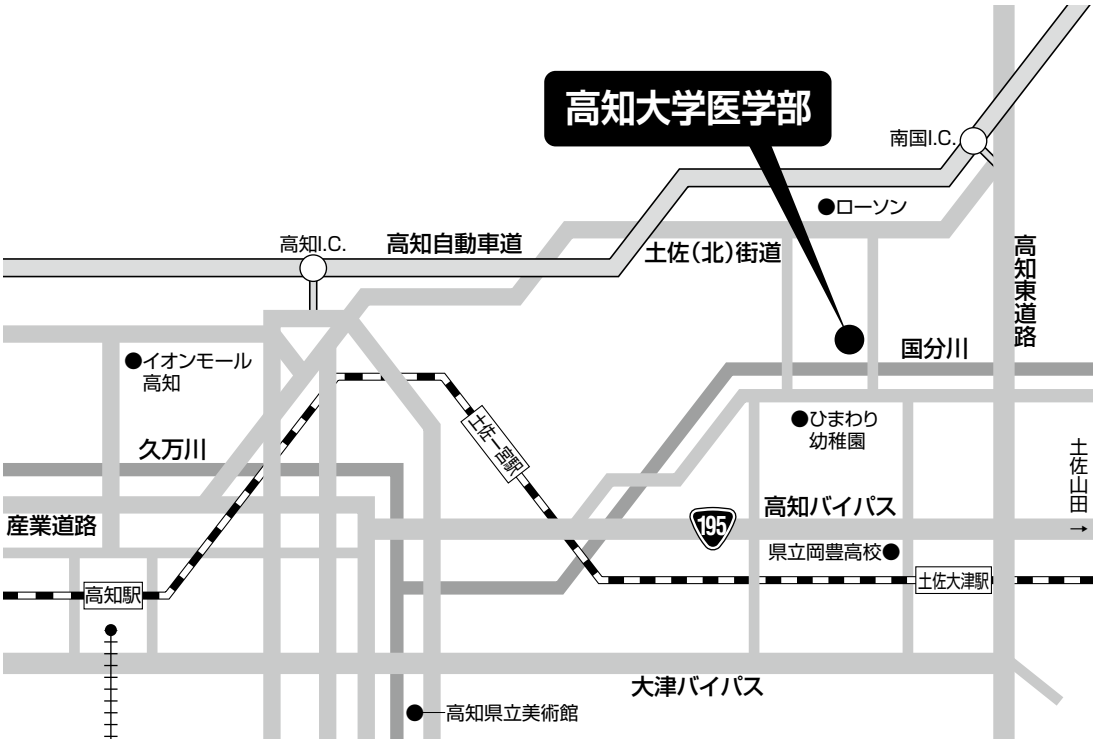
11. 総会のご案内

13時10分までに第1会場（実習棟3階）にお集まりください。

12. 医療機器の展示

医療機器の展示については予定しておりません。

交通案内図



各種アクセス

●空路をご利用の場合

高知龍馬空港より …… タクシーで約30分

●車をご利用の場合

高知自動車道 …… 高知I.Cより約15分
南国I.Cより約10分

●JRをご利用の場合

JR土讃線 …… 「高知駅」よりタクシーで約20分、バスで約30分
「後免駅」よりタクシーで約15分

会場案内図



講義棟･実習棟への経路



①進行方向左手 講義棟へ



②廊下を進み、実習棟へ

日　程　表

7月13日(日)　高知大学医学部（実習棟）

	第1会場 実習棟3階 第一講義室	第2会場 実習棟3階 第二講義室	理事会・幹事会会場 講義棟1階 第一講義室
8:00	8:20～ **受　付**		
	8:45～ **開会挨拶**		
9:00	8:50～9:44 **地方会1（01～06）** 座長：上羽 佑亮	9:00～9:45 **研究会1（19～23）** 座長：大石 大	
	9:45～10:39 **地方会2（07～12）** 座長：柳川 祐輝	9:50～10:35 **研究会2（24～28）** 座長：榎 勇人	
10:00			
11:00	10:50～11:50 **教育研修講演1** 金城 健 先生 座長：永野 靖典		
12:00		12:00～13:00 **ランチョンセミナー** 蜂須賀 明子 先生 座長：和田 恵美子 共催：帝人ヘルスケア株式会社	12:00～13:00 **理事会・幹事会**
13:00	13:10～13:40 **総会・表彰式**		
14:00	13:50～14:50 **教育研修講演2** 近藤 国嗣 先生 座長：泉　仁		
15:00	15:00～15:54 **地方会3（13～18）** 座長：石田 健司	15:00～15:45 **研究会3（29～33）** 座長：林 祥宏	
16:00	16:00～16:36 **研究会5（39～42）** 座長：笹村 聡	15:50～16:35 **研究会4（34～38）** 座長：山本 龍	
17:00	16:40～ **閉会挨拶**		

プログラム

開会挨拶　8：45～8：50　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

会長　泉 仁（高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

地方会1　8：50～9：44　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：上羽 佑亮（高知大学 医学部）

01　髄腔内バクロフェン療法（ITB）と Hybrid Assistive Limb（HAL）による歩行訓練を実施した一例
広島大学病院 リハビリテーション部　井上 奈奈　18

02　ボツリヌス療法後に右肩の挙上困難をきたし再施注・理学療法を要した頸部ジストニアの一例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション医学講座　間口 太公　20

03　ボツリヌス療法にて健側に筋力低下をきたした若年3症例
近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科　中嶋 桃子　22

04　くも膜下出血後の足関節拘縮患者にタウメル継手装具を使用した1例
伊予病院 リハビリテーション科　佐々木 駿　24

05　医療型障害児入所施設での VR リハビリテーションの導入
旭川荘療育・医療センター 整形外科　田中 千晴　26

06　中国四国地区におけるインクルーシブパークに関する調査
鼓ヶ浦こども医療福祉センター 整形外科　黒川 陽子　28

地方会2　9：45～10：39　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：柳川 祐輝（細木病院）

07　人体シュミレーションモデルを使用した股関節骨折のメカニズム
広島大学病院 リハビリテーション部　坂口 魁哉　30

08　上肢と下肢の切断を合併した多肢切断の経験
岡山大学病院 総合リハビリテーション部　濱田 全紀　32

09　高度転位をともなう大腿骨転子部骨折非手術例に対して、回復期病院で行ったリハビリテーション治療の2症例
医療法人千寿会 道後温泉病院 整形外科　安達 永二朗　34

10 整形外科手術を受けた血友病患者の特徴
広島大学病院 リハビリテーション科 永澤 一恵 36

11 運動器検診に参加した前期・後期高齢者における運動機能の経時的変化
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 中前 杏 38

12 高齢者脊椎圧迫骨折に対するダーメンコルセットと
ジュエットコルセットの治療成績
須崎くろしお病院 整形外科 佐野 俊広 40

地方会3 15：00～15：54 第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：石田 健司（高知大学 医学部）

13 災害時リハビリテーション支援のための
生活機能評価・トリアージシステムの開発に向けた研究計画
広島大学大学院 リハビリテーション学 兼永 幸太郎 42

14 外来処方義肢装具の現状報告
近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科 和田 恵美子 44

15 生活期リハビリテーション手法の標準コードの Feasibility 調査
広島大学病院 リハビリテーション部 塚原 樹佳 46

16 Accurate Radio-reduced Assessment of Intensity Method
（ARAI-Method）を応用した水分嚥下時の左右の優位性の検討
川崎医科大学 リハビリテーション医学 新井 伸征 48

17 リハビリテーションの訓練項目と訓練時間が患者 ADL に与える影響の
調査方法の検討：3.5ヶ月1229人の統計分析
広島大学病院 リハビリテーション科 松本 彰紘 50

18 当院における学生・研修医指導の実情と、
高知県のリハビリテーション科医育成の課題
近森リハビリテーション病院 リハビリテーション科 青山 圭 52

研究会1　9：00～9：45　第2会場（実習棟3階 第二講義室）

座長：大石 大（高知大学医学部附属病院）

19 急性脳症を呈した幼児片麻痺に対し Constraint-Induced Movement Therapy（CI 療法）を介入初期に導入した経験

鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部　宍戸 順子　54

20 Preiser 病に対する近位手根列切除後に職場復帰を目的とした作業療法を実施した一例

広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門　太田 篤美怜　56

21 小指伸筋腱の二重病変に対するハンドセラピィ

徳島市民病院　永野 達郎　58

22 PICS を呈した心大血管術後患者に対する急性期作業療法の有用性
―早期介入による ADL/IADL の改善の一症例―

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部　滑 結衣　60

23 ばね指における腱鞘切開術後の PIP 関節伸展制限に影響を及ぼす因子の検討

徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科　山家 恭平　62

研究会2　9：50～10：35　第2会場（実習棟3階 第二講義室）

座長：榎 勇人（高知健康科学大学）

24 初回 TKA と2回目 TKA の術前時における Pain Catastrophizing Scale の比較

医療法人社団おると会 浜脇整形外科リハビリセンター リハビリテーション科　宮澤 壮一朗　64

25 思春期特発性側弯症手術後の腰痛に対して理学療法を実施し改善を認めた一症例

岡山大学病院 総合リハビリテーション部　山脇 諒子　66

26 学童期にギラン・バレー症候群を発症した1症例における理学療法の経験

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部　道端 ゆう子　68

27 骨盤底筋群の収縮獲得に難渋した症例を通して個別性のある介入の重要性を学んだ経験

山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部　光田 真緒　70

28 関節リウマチのリハビリテーション医療の課題に関する研究

道後温泉病院リウマチセンター リハビリテーション科　島原 範芳　72

研究会3　15：00～15：45　第2会場（実習棟3階 第二講義室）

座長：林 祥宏（高知大学医学部附属病院）

29 上肢筋力の低下したパーキンソン病者の起き上がり動作練習
―人工知能を用いた動作解析―
須崎くろしお病院 リハビリテーション部　中山 智晴　74

30 2週間毎の FIM 測定が当院アウトカム実績指数に及ぼす効果の検証
医療法人野並会 高知病院 リハビリテーション課　宮﨑 貴仁　76

31 地域包括ケア病床における入院患者の在宅復帰率と
リハビリテーションの役割と課題について
医療法人永島会 永井病院 リハビリテーション科　重松 真ノ介　78

32 人工膝関節全置換術後の身体機能と術前位相角（Phase angle）との関連
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部　小田 翔太　80

33 右側脳病変により垂直性障害を有する重度片麻痺患者の座位保持練習
―事象記録を用いた介入効果の検討―
須崎くろしお病院 リハビリテーション部　﨑山 誠也　82

研究会4　15：50～16：35　第2会場（実習棟3階 第二講義室）

座長：山本 龍（高知大学医学部附属病院）

34 胸部食道癌切除術後の患者における術後身体活動量は
退院時の栄養充足率に影響する
徳島大学病院 リハビリテーション部　近藤 心　84

35 通所リハビリテーションにおける医学的管理の重要性
医療法人永島会 永井病院 併設）デイケアながい　谷岡 寿昭　86

36 通所リハビリテーションにおけるリハビリテーション会議の効果
医療法人永島会 永井病院 併設）デイケアながい　杉山 華保　88

37 脳卒中患者に対する非改造車の自動車運転再開に必要な因子について
医療法人社団和風会 橋本病院 リハビリテーション部　福田 真也　90

38 地域高齢者における Jerk Index を用いた歩行の滑らかさの評価
高知健康科学大学 健康科学部 リハビリテーション学科　榎 勇人　92

研究会5　16：00～16：36　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：笹村 聡（高知リハビリテーション専門職大学）

39　「新鮮な刺身を選んで買いたい」
閉じこもりがちなパーキンソン病患者が再び買い物に行けるまで

医療法人五月会 須崎くろしお病院 リハビリテーション部　公文 康輔　94

40　着衣障害を呈した重度片麻痺患者に対する更衣練習
―色彩の一致を利用した無誤学習―

医療法人五月会 須崎くろしお病院 リハビリテーション部　立仙 志帆　96

41　当院における FLS の取り組み
～二次性骨折予防とリハビリテーションへの薬剤師の関わりについて～

医療法人永島会 永井病院 薬剤部　本田 里織　98

42　当院回復期リハビリテーション病棟における FIM 予後予測法の活用

JCHO 宇和島病院 リハビリテーション科診療部　山田 佐衣　100

教育研修講演1　10：50～11：50　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：永野 靖典（医療法人野並会 高知病院）

小児痙縮治療戦略における選択的脊髄後根切断術の役割
チームアプローチと術後リハビリテーション治療の重要性

金城 健 先生　沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児整形外科 部長

ランチョンセミナー　12：00～13：00　第2会場（実習棟3階 第二講義室）

座長：和田 恵美子（近森リハビリテーション病院）

ボツリヌス療法の多様な治療戦略を考える
―大学病院・一般病院・回復期および療養病院にて―

蜂須賀 明子 先生　産業医科大学若松病院 リハビリテーション科 診療科長

共催：帝人ヘルスケア株式会社

理事会・幹事会　12：00～13：00　　理事会・幹事会会場（講義棟1階 第一講義室）

総会・表彰式　13：10～13：40　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

教育研修講演2　13：50～14：50　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

座長：泉　仁（高知大学 医学部）

［ 災害時のリハビリテーション支援体制と活動の実際 ］

近藤　国嗣 先生　東京湾岸リハビリテーション病院 院長

閉会挨拶　16：40～　　第1会場（実習棟3階 第一講義室）

会長　泉　仁（高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

第58回中国四国リハビリテーション医学研究会
第53回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会　長：泉 仁

事務局：高知大学医学部附属病院リハビリテーション部
〒783-8505　高知県南国市岡豊町小蓮
TEL：088-880-2490　FAX：088-880-2492
E-mail：5853reha@kochi-u.ac.jp

出　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025
https://secand.jp/